

屋根裏部屋のマリアたち (2010)

LES FEMMES DU 6EME ETAGE

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 106分

初公開日 2012/07/21

公開情報 アルバトロス・フィルム

映倫 G

【キャッチコピー】

本当の幸せ？ それはメイドたちにお聞きになって

【解説】

1960年代のフランスを舞台に、フランス人資産家とスペイン人メイドたちとの心の触れあいを描いたヒューマン・コメディ。経済的にも社会的にも成功を収めた主人公が、屋根裏に暮らしながらも陽気で情熱的なスペイン人メイドたちと、階級の壁を取り払って交流を深めていく中で本当の幸せを見出していく姿をハートウォーミングに綴る。主演は「親密すぎるうちあけ話」「しあわせの雨傘」のファブリス・ルキーニ。共演にサンドリーヌ・キベルラン、ナタリア・ベルベケ、カルメン・マウラ。監督はこれが長編6作目で本邦初劇場公開作となるフィリップ・ル・ゲ。

1962年のフランス、パリ。半熟卵のゆで加減にこだわるジャン＝ルイ・シュベールは、祖父の代から続く証券会社を経営者する資産家の中年男性。ある日、先代から仕えていたフランス人メイドが妻のシュザンヌに反発して辞めてしまう。そこでシュザンヌは、勤勉と評判のスペイン人メイドを雇うことに。こうしてシュベール家に新たなメイドとして若いスペイン人マリアがやってくる。彼女はメイドの仕事をしながらか、同じアパートマンで働く同郷の個性豊かなメイドたちと狭い屋根裏部屋での共同生活を始める。ある日、その屋根裏部屋に足を踏み入れたジャン＝ルイは、トイレが故障していると知るとすぐに修理を手配、マリアたちに感謝される。これをきっかけにメイドたちの交流が始まったジャン＝ルイ。すると彼の中で、次第にこれまでの堅苦しい生き方に疑問が芽生えていくのだが…。

【クレジット】

監督	フィリップ・ル・ゲ	Philippe Le Guay	
製作総指揮	フィリップ・ルスレ	Philippe Rousselet	
脚本	フィリップ・ル・ゲ ジェローム・トネール	Philippe Le Guay Jerome Tonnerre	
撮影	ジャン＝クロード・ラリュエ	Jean-Claude Larrieu	
美術	ピエール＝フランソワ・ランボッシュ	Pierre-Francois Limbosch	
衣装	クリスティアン・ガスク	Christian Gasc	
編集	モニカ・コールマン	Monica Coleman	
音楽	ホルヘ・アリアガータ	Jorge Arriagada	
出演	ファブリス・ルキーニ	Fabrice Luchini	ジャン＝ルイ・ジュベール
	サンドリーヌ・キベルラン	Sandrine Kiberlain	シュザンヌ・ジュベール
	ナタリア・ベルベケ	Natalia Verbeke	マリア

カルメン・マウラ	Carmen Maura	コンセプション
ロラ・ドウエニャス	Lola Duenas	カルメン
ベルタ・オヘア	Berta Ojea	ドロレス
ヌリア・ソレ	Nuria Solé	テレザ
コンチャ・ガラン	Concha Galán	ピラール
マリー＝アルメル・ドウギー	Marie-Armelle Deguy	コレット・ドウ・ベル ジュレ
ミュリエル・ソルヴェ	Muriel Solvay	ニコル・ドウ・グラン クール
オドレイ・フルーロ	Audrey Fleurot	ベッティナ・ドウ・ブ ロソレット
アニー・メルシエ	Annie Mercier	トリブレ夫人
ミシェル・グレイゼル	Michèle Gleizer	ジェルメーヌ